



THE NEWS LETTER

2013 SUMMER

Vol. **27**

日本歯科審美学会
Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

日本歯科審美学会副会長 宮内修平



昨年4月に佐藤 亨先生から千田 彰先生に会長がバトンタッチされて早くも1年数か月が経過しました。千田体制が定着して会務は順調に推移しており、今年7月には日本歯科大学の奈良陽一郎大会長により第24回大会が開催されます。

本学会の提唱する真の歯科審美の考え方とその臨床のあり方を全国的に普及させるべく、佐藤前会長の考案により始まった国内の歯科衛生士

学校、歯科技工士学校への役員による出張講義も非常に好評を得、今後とも継続することが望まれております。

こうした中、現在会員数は4,090名、内訳は歯科医師2,580名(63%)、歯科技工士127名(3.1%)、歯科衛生士1,339名(32.7%)となっており、歯科の他学会に比べると歯科衛生士の占める割合が圧倒的に高く、日本歯科審美学会がまさに学際的な学会であることが明らかであります。しかし、この歯科衛生士会員に関しては例年入退会数が非常に多く、会員数は安定しておりません。この現象の主たる原因は、数年前に始まったホワイトニングコーディネーターの資格認定制度にあると思われます。日々臨床の現場で働く歯科衛生士にとって、新たな知識の習得とともにコーディネーターという称号を取得できることは非常に魅力的なことであり、現在コーディネーター数は4,791名と驚異的に多くなっております。しかし学会におけるコーディネーターの位置づけが明確でなく、会員は1,087名(22.7%)にすぎず、残りの3,704名(77.3%)は非会員です。非会員コーディネーターが圧倒的に多いこと、会員コーディネーターと非会員コーディネーターが混在する状況下で責任あるフォローが可能なのかなどは、学会が抱える大きな問題でもありますが、ホワイトニングコーディネーター委員会やセミナー委員会ですでに鋭意検討されており、いずれ早い時期に良い形になるものと思われま

す。また、認定医、認定士の取得者数に関しても総会員数から見て未だ少なく、今後さらに増やしていく必要がありますが、これに関しても認定審議会(宮崎真至委員長)で努力していただいております。

本学会は従来から「任意団体」として活動しておりますが、4,000人を超える会員を擁する学会としては、社会的信用を得、社会的責任を負うために法人格を取得することは世間の趨勢から見ても責務と考えられます。そのため現在、法人化に向けて動き始めております。さらに2017年には日本で2回目となる、IFED(国際歯科審美学会)の学術大会が開催される可能性が出てきており、是非とも誘致したいと考えております。今後も皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

第24回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座 大会長 奈良陽一郎



日本歯科審美学会会員の皆様、如何お過ごしでいらっしゃいますでしょうか。さて、日本歯科審美学会から第24回学術大会の主管を仰せつかり、7月20日(土)・21日(日)の両日、東京都千代田区にございます日本歯科大学生命歯学部における開会を見据え、準備のラストスパートを迎えております。

今回の学術大会では、「歯科審美 調和の医療」をメインテーマとして、一般発表(口頭・ポスター発表)をはじめ、吉本信也昭和大学医学部教授による特別講演、Dr.Jack Ringer AACD会長による招待講演、千田 彰 学会長による会長講演、さらには矯正・保存・補綴領域の教育講演を開催いたします。また、三位一体の歯科審美医療、ハイクオリティの口腔インプラント、米国Esthetic Dentistry、ホワイトニング、CAD/CAMテクノロジー応用の審美修復などをテーマとしたシンポジウム、くわえて歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士それぞれを対象とするセッションを企画しております。

さらに、これらプログラムの中には、本学会の認定医・認定士およびホワイトニングコーディネーター資格の新規・更新申請に有効なプログラムを複数設定しておりますので、ご活用ください。また、一般発表のポスター発表では、学会の表彰制度規則に則り優秀発表賞が授与されますので、活発なご討議を期待しております。くわえて、大会2日間を通じランチョンセミナーと企業展示を設け、参加者が望む情報やニーズを少しでも多くご提供できるよう努めさせていただきます。さらに、第一日目の夕刻には、皆様による思い思いの意見交換や親交を深めていただくため、美味しいお料理をご用意して懇親会を開催いたしますので、お誘い合わせの上、お越し願います。

また、第二日目の午後には、学会からの依頼を受け、一般の方々も参加できる市民公開講座を併催いたします。講演者には、ニューヨークやパリのコレクションにおいてメゾン・マークチーフを務め、多くの女優・タレントから高い評価を得ている資生堂ビューティートップスペシャリストの岡本美也子さんをお招きしておりますので、ご期待ください。

これらプログラムが会員・参加者・講演者のみならず、協賛企業を含めた各位の期待・求め・願いに応えられる大会となりますよう

“おもてなしの心”をもって皆様をお迎えしたく思います。詳しくは、大会ホームページ (<http://www.c-linkage.co.jp/shinbi24/>) をご覧ください。

では、梅雨明けの輝く太陽の下、皆様のご来臨をスタッフと共にお待ちしております。

●開催概要

【会 期】平成25年7月20日(土)・21日(日)

【会 場】日本歯科大学生命歯学部

〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20

【大会長】奈良陽一郎(日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座)

【実行委員長】柵木寿男(日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座)

【準備委員長】石川明子(日本歯科大学附属病院総合診療科)

【大会HP】<http://www.c-linkage.co.jp/shinbi24/>

【大会事務局】日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座内

【運営事務局】株式会社コンベンションリンケージ

Tel: 03-3263-8688 Fax: 03-3263-8693

E-mail: shinbi24@c-linkage.co.jp

※発表・講演・会員懇親会・各種会議を含め、『クールビズ・スタイル』をオフィシャル・ドレスコードとします。

【学術大会プログラム】

●7月20日(土)

特別講演(17:10~18:10)

『形成外科の役割と取り組み』

吉本信也(昭和大学医学部形成外科学教授)

シンポジウム1(9:50~11:20)

<認定医・認定士講習会プログラム>

『三位一体の歯科審美医療』

近藤隆一(東京都)、五十嵐智(埼玉県)、山羽京子(愛知学院大学歯学部)

シンポジウム2(9:50~11:20)

<認定医・認定士講習会プログラム>

『ハイクオリティーの口腔インプラントを目指して』

関根秀志(東京歯科大学)、白石大典(神奈川県)、畑岡いづみ(東京都)

シンポジウム3(15:30~17:00)

『和による米国Esthetic Dentistry』

清水直樹(テキサス州開業)、鈴木貴規(ニューヨーク大学)、鈴木
司郎(アラバマ大学)

教育講演<矯正領域>(10:20~11:20)

葛西一貴(日本大学松戸歯学部)

教育講演<保存領域>(16:00~17:00)

山田敏元(虎の門病院歯科)

臨床セッション(16:00~17:00)

<ホワイトニングコーディネーターアドバンスコースプログラム>

『もう一度確認しよう：ホワイトニングの安全性と臨床手順』

山口麻衣(昭和大学歯学部)

◇ランチョンセミナー(11:30~12:30)

◇総会・表彰式(12:40~14:00)

◇口頭発表(14:10~15:20) ◇ポスター掲示(9:50~18:00)

◇企業展示(10:00~18:00)

◇懇親会/ホテルメトロポリタンエドモント(19:00~20:30)

.....

●7月21日(日)

招待講演(11:25~12:25)

『Harmony in Esthetic Dentistry』

Dr.Jack Ringer(AACD会長)

会長講演(9:00~9:40)

千田 彰(愛知学院大学歯学部・日本歯科審美学会会長)

市民公開講座(13:30~14:30)

岡元美也子(資生堂ビューティークリエーション研究センター)

シンポジウム4(9:45~11:15)

『ホワイトニングから始める持続的口腔管理』

<認定医・認定士講習会プログラム>

<ホワイトニングコーディネーターアドバンスコースプログラム>

椿 知之(東京都)、佐藤祥子(昭和大学歯学部)、鍛治田忠彦(昭和大学歯学部)

シンポジウム5(15:00~16:30)

<日本歯科CAD/CAM学会共催プログラム>

<認定医・認定士講習会プログラム>

『CAD/CAMテクノロジーを応用した審美修復を成功させるための秘訣』

岩田卓也(東京都)、中村昇司(東京都)、富田佳照(東京都)

シンポジウム6 (15:00~16:30)

<認定医講習会プログラム>

『新しい手法によるホワイトニング』

柴 肇一(東京都)、芝 燁彦(昭和大学歯学部)、永井茂之(東京都)

教育講演<補綴領域> (10:00~11:00)

宮内修平(大阪府・日本歯科審美学会副会長)

歯科衛生士セッション(11:25~12:25)

<認定士講習会プログラム>

小林明子(東京都)

歯科技工士セッション(11:25~12:25)

<認定士講習会プログラム>

志田和浩(神奈川県)

◇ランチョンセミナー(12:40~13:40)

◇ポスター掲示(9:00~16:00)／ポスター討論(13:50~14:50)

◇企業展示(9:00~16:00)



飯田橋駅前の牛込橋



神楽坂

第25回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

歯科審美臨床と学術のハーモニー

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

生体機能再生・再建学講座歯科保存修復学分野 大会長 吉山昌宏



雨に映える紫陽花の花も美しく、爽やかな季節となりました。日本歯科審美学会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。平成26年11月22日(土)・23日(日)の両日、香川県高松市の高松国際ホテルにおいて、第25回日本歯科審美学会学術大会・総会を開催主管させていただくことになりました。(注：以前のご案内では、アルファあなぶきホールとお知らせ

いたしました。会場が高松国際ホテルに変更となっております。) 今回の大会では「歯科審美 臨床と学術のハーモニー」をメインテーマに、国民・患者の誰もが願う“辛くなく、綺麗で、確かな治療”を具現化する歯科審美の臨床、それを支える学術的根拠の和合について、参加者の皆様が語りあい、それぞれの立場から見つめ直す機会となれば幸いです。まず国内外より著名な歯科審美に関する臨床家および研究者をお招きして多数の講演やランチョンセミナーを予定しております。また会員によるポスター発表も多数予定しており、歯科技工士セッションや歯科衛生士セッションも予定しています。さらに、皆様が望む情報やニーズを少しでも多くご提供できるよう、大会2日間を通し、多くの企業から協賛を得ました展示場を設けておりますので、お立ち寄り下さい。そして初日の夕刻には、会員、参加者、講演者各位の親睦や交流を深めていただくため、同ホテルにて懇親会を開催致しますので、ぜひともお誘いあわせの上、ご参加ください。

大会終了後の11月24日(月・祝)には風光明媚な香川・高松をお楽しみいただくため、ゴルフ、うどんツアーなどのエクスカージョンを予定しています。

詳細につきましては、今後「歯科審美」による会報や大会ホームページによってお知らせいたします。

皆様の御来臨をスタッフ一同心よりお待ち申し上げます。



高松国際ホテル

第8回 IFED大会のご案内

IFEDミュンヘン大会(2013年9月18日-21日)のお知らせ

大阪大学大学院歯学研究科 中村隆志

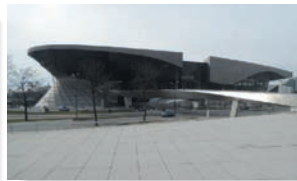
日本歯科審美会は組織としてIFED (International Federation of Esthetic Dentistry、国際審美歯科連盟)に加入しています。IFEDは世界の20以上の審美歯科を専門とする学会が加入する連盟組織です。日本歯科審美学会(JAED)はアメリカ(AAED)、ヨーロッパ(EAED)とともに、IFEDの創立メンバーの一つであり、1997年に京都で第2回IFED大会を主催しました。IFED大会は原則として2年に一度開催され、前回(2011年)はリオデジャネイロ(ブラジル)で開催されました。今年の第8回大会はミュンヘン(ドイツ)で、第9回は2015年にケープタウン(南アフリカ)で開催される予定です。2年に一度会長の交代があり、次期(2014~2015年)は、千田 彰JAED会長(愛知学院大)が、IFED会長に就任することが決まっています。また、2017年の第10回大会の開催地には日本とトルコが立候補しており、2014年2月にシカゴで開かれるIFED総会での投票で決定されることになっています。

今回のIFED大会は9月18日から21日にミュンヘン市中心部にあるGasteig文化センターで開催されます。大会を主催するのはドイツの審美学会(DGAZ)であり、IFED大会とドイツの審美学会大会が併催される形になります。18日は、学会前のプレセッションが中心であり、通常のプログラムは19日午前の開会式からスタートします。一般のプログラムに加え技工プログラムが設定されており、IFEDの創始者の1人であるDr. R. Goldsteinを始めとする40名以上の演者が講演を行います。それぞれのセッションは、天然歯vsインプラント、直接修復vs間接修復、従来型印象vsデジタル印象、といったテーマに沿って講演が行われます。この他に、ポスターコンペティションも開催予定です。具体的なプログラムは、www.ifed-2013.comあるいは、日本の学会ホームページからご覧いただくことが可能です。

ミュンヘンはちょうどビールで有名なオクトーバーフェストが始まる時期であり、学会最終日には、このお祭りに参加するツアーも行われます。また、20日の夜には、ミュンヘンに本社があるBMWのショールームでの懇親会もオプションに設定されています。日本の会員は登録料が20%割引になります。秋で気候の良い時期でもあり、この機会に多数の先生方が参加されることを願っております。



賑わうオクトーバーフェスト
(IFED大会資料より)



懇親会が開催されるBMW Welt
(ショールーム)

AACD参加報告

第29回AACD大会に参加して

東京医科歯科大学大学院う蝕制御学分野 大槻昌幸



4月24～27日に、米国シアトルで開催されました、American Academy of Cosmetic Dentistryの29th Annual Scientific Sessionに参加しましたのでご報告申し上げます。AACDは、1984年に設立され、会員は6,554名(本学会は4,090名です)、今回開催された年次大会には会員・非会員合わせて1,682名が参加しました。今年は、大リーグでイチローが活躍していた、ワシントン州のシアトルで開催されました。会場はWashington State Convention Centerで、AACDが開催された1か月前の3月末に、International Association for Dental Research (IADR)が開催された会場と同じです。

IADRや日本の多くの学会の学術大会が、主に研究発表の場を提供しているのに対して、この年次大会は、主に著名な講師による講演やハンズオンを提供している点が大きく異なります。これらのプログラムは、歯科医師のみならず、歯科技工士・歯科衛生士向けのものも充実しています。講演の内容は、レジン修復、セラミック修復、CAD/CAM、矯正治療、インプラントなど審美歯科治療に関して多岐にわたっておりました。その中で、症例写真の撮り方の講演がいくつかあったのが印象的でした。日本でも著名なNewton Fahl先生のコンポジットレジン修復のハンズオンやHaywood先生のホワイトニングの講演などもありましたが、これらへの参加は事前登録制になっており、有名な先生の講演やハンズオンはすぐに満席になってしまいます。ま



AACD年次大会の案内



会場入り口付近

たこれらのプログラムのいくつかは、企業がサポートしているものもあり、本学会の協賛会員である松風、ジーシー、トクヤマデンタルなども講演やハンズオンをサポートしておりました。

私と日野浦 光先生(東京都開業)が、本学会から派遣された演者として、Composite Restorations Based on Minimal Interventionの演題で、それぞれ1時間半の講演をさせていただきました。AACDの元会長でハワイで開業されているWynn Okuda先生も聞きに来てくださり、講演が終わってから、「日本からの演者には、きれいな症例の提示よりも、研究成果に基づいた話題を期待している」と話されておりました。心の優しいOkuda先生は、「Otsukilは、3年前より英語がうまくなったね」と声を掛けてくださいましたが、かなりお世辞が含まれており、まだまだ語学力が不足していることは自覚しております。

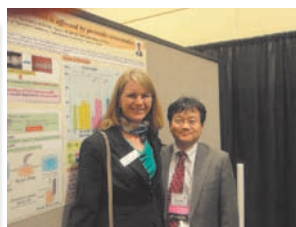
ポスター発表の場もありましたが、その規模は大きいとはいえません。その中で、富士谷盛興先生がThe 1st place winner for the AACD 2013 Poster Session for Research Junior Facultyを受賞されました。AACDは本学会と交流協定を結んでおり、千田 彰会長、中村隆志国際渉外担当常任理事、富士谷総務担当常任理事らが本学会を代表して参加し、交流を深めました。

米国の最先端の審美歯科治療に触れたい会員の皆様は、参加費はやや高額ですが、機会がありましたら参加されますことをお勧めします。次回の年次大会は、2014年4月30日～5月3日に、フロリダ州のオーランドで開催の予定です。AACDのホームページ<http://www.aacd.com/>をご覧ください。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださいました、本学会の千田会長、中村常任理事をはじめ関係各位に感謝申し上げます。



講演中の日野浦先生



ポスターの前の富士谷先生、Barb Kachelski事務局長と

セミナー報告

平成24年度 日本歯科審美学会第1回セミナーに参加して

東京都開業・大谷一紀



平成24年12月16日(日)に、平成24年度日本歯科審美学会第1回セミナーが、新宿グランドイベントホールにて「さらに進化する審美修復ーコンポジット最新技術を知るー」というテーマで開催されました。

併設会場にてホワイトニングアドバンスセミナーも同時開催という

こともあり、会場は多くの参加者で賑わっていました。

セミナーは千田 彰会長(愛知学院大学歯学部教授)の日本審美歯科学会の活動と認定医、認定士制度についてのご講演から始まり、次演者の佐藤博信教授(福岡歯科大学)は学会のセミナー活動、認定医、認定士制度について詳細に解説されました。その後、宮崎真至教授(日本大学歯学部)と自分でダイレクトボンディングの講演をさせていただきました。

宮崎真至教授の教育的でユーモア溢れるダイレクトボンディングのご講演は、接着理論にはじまり、前歯の積層充填から臼歯部の充填テクニックまでもが凝縮された内容でした。

さらに、講演の合間にデモンストレーションも実施され、すべての内容が明日からの自身の臨床に役立つものばかりでした。

自分の講演は、審美領域における、ダイレクトボンディングとセラミック修復というテーマでした。

ダイレクトボンディングについては、積層充填による明度の調和と形態修正の方法に重点をおいて講演いたしました。

セラミック修復については、支台歯形成とプロビジョナルレストレーションを用いた周囲組織のコントロール法にフォーカスを当てて講演させていただきました。

学会員となり初参加のセミナーでの講演ということもあり、いささか緊張もありましたが、貴重な体験をさせていただきました。今後も定期的に日本歯科審美学会の学術大会やセミナーに積極的に参加したいと思います。

セミナー報告

平成24年度 第1回ホワイトニングアドバンスセミナー報告

松尾歯科医院・永瀬佳奈



昨年12月16日(日)に、平成24年度第1回ホワイトニングアドバンスセミナーがベルサール新宿にて開催され、田島菜穂子先生(ナグモ歯科赤坂クリニック)と私の2名が講師を務めさせていただきました。これまでに8,000名以上のホワイトニングコーディネーター(以下WC)が誕生しており、このセミナーは資格更新の

対象セミナーでもあったため、100名の定員オーバーの出る非常に参加申し込みの多いセミナーとなりました。また、当日行った入会促進キャンペーンにより22名の歯科衛生士が入会され、会員数の増加にもつながりました。

田島先生は「ホワイトニングコーディネーターの次なる視点ー白い歯の意味するところー」と題して、多様化するニーズに応えるために、患者さんとの意識の相違が生じた場合にWCとしてどのように対応すべきかを、田島先生らしく心理的な部分にも踏み込んで、ご自身の経験も交えながらお話しされました。私は「ホワイトニングコーディネーターとして活躍するために」として、WCの資格を活かし、自信と責任を持って活躍することができるよう、ホワイトニングに関する基礎知識の復習や様々な症例に応じたカウンセリングのポイント等を具体的にお話しさせていただきました。私は以前、田島先生と共にWC委員を務めさせていただいておりましたので、その時の受講者からのアンケートに書かれていた要望等もできるだけ取り入れた内容にして、WCとしてのステップアップに活かしていただければという思いで講演させていただきました。

最後の質疑応答では、アドバンスセミナーにふさわしい実践的な内容の質問も多く出て、座長の富士谷盛興先生(愛知学院大学)には、より深く学術的な説明も加えていただき、全体を通してたいへん有意義なセミナーとなりました。また、講演の中でもお話しさせていただきましたが、WCの皆様には、今後はぜひ認定士の資格取得にも意識を向けていただき、ホワイトニングだけでなくとどまらず「歯科審美」全般に目を向けて、歯科衛生士としての活躍の場をさらに広げていただければと期待しております。

セミナー報告

平成24年度 第2回セミナー報告

愛知県開業・須崎 明



平成25年2月10日、プライムセントラルタワー名古屋駅前店にて「さらに進化する審美修復－コンポジットレジン最新技術を知る－」というテーマで第2回セミナーが開催されました。同一会場でホワイトニングアドバンスセミナーが開催されたこともあり、会場は多くの受講者で熱気に包まれていました。

セミナーでは会長の千田 彰先生、セミナー委員会委員長の佐藤博信先生による「日本歯科審美学会の目指す歯科医療」や「最新の審美修復の現状」についての基調講演の後、2会場に別れて貞光謙一郎先生と私でハンズオンセミナーを行いました。貞光先生のコースではフロアブルコンポジットレジンを用いた臼歯部の簡単で審美的なレジン充填についての講演と実習が行われました。一方、私のコースでは日常臨床で何気なく行っているコンポジットレジン修復の1つ1つのステップについて「なぜそのステップが必要なのか」「その効果はどのようなものなのか」を最新のエビデンスに基づいてマイクロスコープ下で再考察しました。また実習では臼歯部2級充填を中心にそれぞれのステップについて「窩洞外形線の設定のポイント」「ベベルの意義」「確実な接着操作のコツ」「術後疼痛を回避するための充填操作の勘所」「機能的咬合面形態付与の勘所」「隣接面の修復の秘訣」などについて再考察しました。受講された先生方の臨床に対する熱意が今でも印象に残っています。最後に私にこのような貴重な機会を与えて頂いた千田先生、佐藤先生をはじめ日本歯科審美学会関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。



委員会報告

歯科審美編集委員会

会員皆様にはいつもお世話になっております。お陰様で「歯科審美」第25巻第2号を今年3月に発行することができました。この号では、総説1編、原著2編、症例報告2編、誌上セミナー1編そして特集として3編、合計9編の論文を掲載しております。いずれも日常の臨床に役立つとても有益な情報を提供しておりますので、是非参考にさせていただきたいと思います。

前号でお知らせしましたように、論文投稿時の利便性と論文査読の効率化を目的として、印刷物郵送による投稿から電子投稿システム（メール投稿）への移行を進めて参りました。電子投稿システムへの移行に伴う投稿規程の改訂案が、今年4月18日に開催された理事会でようやく承認されました。改訂された投稿規定は第26巻第2号から適用となります。次号（第26巻第1号）に投稿規定改訂版を掲載しますので、第26巻第2号以降に投稿を予定されている先生方は、この投稿規定に従ってメールでご投稿いただきたいと思います。

論文査読では著者の皆様にも大変なご負担をおかけしております。編集委員会の方針として明解な論文掲載を目指しておりますので、かなり細かいところまで慎重に査読しております。学術雑誌として「歯科審美」の質を維持してさらに向上させていくためにも、引き続き著者の皆様からご理解・ご協力を頂戴したいと思います。

次号の「歯科審美」（第26巻第1号）には「歯周と審美」について特集を企画しておりますので、是非ご期待いただきたいと思います。「歯科審美」は、日本歯科審美学会の機関誌として原著論文のみならず症例報告・臨床のヒント等、臨床論文を重視する方向性を維持していきたいと考えております。会員の皆様方から積極的なご投稿をお待ちしておりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。（委員長 新海航一）

国際渉外委員会

日本歯科審美学会（JAED）が加入しているIFED（International Federation of Esthetic Dentistry、国際審美歯科連盟）の理事会、総会が3月にケルン（ドイツ）で開催され、千田 彰会長と中村（国際渉外）が参加しました。例年はミッドウインターミーティングに合わせて2月にシカゴで開催されていましたが、今年は世界最大規模のデンタルショーIDSで賑わうケルンで開かれました。IFEDや2013年ミュンヘン大会については、別ページに詳しく案内しておりますのでそちらをご覧ください。

日本歯科審美学会はAmerican Academy of Cosmetic Dentistry（AACD、アメリカ美容歯科学会）および韓国歯科審美学会（KAED）

と姉妹協定を締結しており、これらの学会と演者や論文の交流を行っています。4月のAACD年次大会(シアトル)には、大槻昌幸先生(東京医科歯科大)と日野浦光先生(東京都)を演者として派遣しました。日本の両先生の講演は、MI修復の基礎や臨床に関するもので、聴講いただいた方々には大変好評でした。一方、KAEDは毎年11月10日にソウルで秋季大会を開催します。KAEDとJAEDは交互に演者派遣を行っており、2013年のKAED秋期大会には日本から演者を派遣する予定です。(委員長 中村隆志)



千田次期IFED会長と理事達(ケルン)

講演中の大槻昌幸先生(AACDシアトル)

.....

国内渉外委員会

平成24年度からの千田 彰会長体制も2年目に入りました。国内渉外委員会は歯科審美の社会および歯科界への普及活動や歯科関連学会との連携などの役割が与えられています。

佐藤 亨前会長時代の平成22年度から始めました歯科界への普及事業として歯科衛生士と歯科技工士の養成機関(155校、53校)への出張講義事業も4年目になりました。平成24年度は歯科衛生士学校25校および歯科技工士学校1校に対して出張講義を実施致しました。

これまでの実績として平成22年度20校、平成23年度19校、



平成24年度26校の申込を得ました。おかげさまで聴講学生には大変好評で連続要請を含めて出張要請が増えております。講義内容は歯科審美学の全般やホワイトニングが多いですが、歯科審美学の奥深さを知る良い機会になっているようです。講師を務めて下さった学会役員の先生にはこの場をお借りして感謝申し上げます。

今年度のお出張講義の案内はすでに開始しております。学会会員の皆様にもお近くの養成学校に本事業をご紹介いただくことをお願い申し上げます。

なお、今期の国内渉外委員会委員は風間龍之輔、須崎 明、武井典子、日野浦光、森田修一、渡邊清志の6名の先生にお願いしております。
(委員長 福島正義)

社会・保険委員会

平成24年12月14日(金)・15日(土)に歯科医師会館会議室およびホテルグランドヒル市ヶ谷で開催された平成24年度日本歯科医学会第2回ワークショップに柵木寿男委員が参加しました。次期診療報酬改定に向けて、各学会の取り組みが紹介されるとともに、保険収載へのステップに関する情報交換がなされました。

また、平成25年3月21日(木)日本歯科医師会館で行われた次期診療報酬改定における医療技術評価に係る説明会に藤澤が参加し、歯科医学会からの説明を受けると共に、関連学会との共同提案の相談を行いました。内容としては

1. ファイバーポストによる支台築造
2. 臼歯部テンポラリークラウン
3. シェードテイキング
4. 小臼歯のレジン前装冠
5. 根面う蝕の充填

の5項目を日本補綴歯科学会、日本接着歯学会、日本歯科保存学会と共同提案をする予定です。

平成26年度の保険点数改正に反映されることを期待したいと思っております。
(委員長 藤澤政紀)

認定医・認定士審議会

認定審議会では、新規および更新申請の書類審査および新規申請者については書類審査に加えてケースプレゼンテーションの審査を行っています。昨今、認定医のあり方などが議論されておりますが、認定取得後のフォローアップに関しても、一般市民に理解されうる制度の確立を目指したいと考えております。

以下に、平成24年度に行われました本委員会の報告をさせていただきます。

認定審議会の実施状況

1. 平成24年8月18日 平成24年度第2回認定医・認定士合同審議会

- 1) 第32期新規認定医審査：3名合格
- 2) 第13期新規認定士審査：2名合格
- 3) 認定士更新書類審査：1名合格

2. 平成24年11月29日 平成23年度第3回認定医・認定士合同審議会

- 1) 第33期新規認定医審査：3名合格
- ・認定医更新申請者2名は、書類審査の結果、1名合格、1名保留
- ・認定士更新申請者2名は、書類審査の結果、1名合格、1名保留

3. 平成25年2月7日 平成24年度第4回認定医・認定士合同審議会

- 1) 第31期新規認定医審査：3名合格
- 2) 認定医更新診査：1名合格

今後の予定について

- ・第34期認定医、第14期認定士試験書類申請受付：平成25年4月30日(火)
- ・書類審査結果通知：平成25年6月17日(月)
- ・症例提示および口頭試問：平成25年7月26日(金)

多くの会員に、資格を取得されますようお願い申し上げます。一方、認定という資格は、申請者全てに認証されるものではなく、厳しい審査の結果であることを再度認識いただければと思います。

なお、申請に当たりましては本学会のホームページをご参照頂くか、(財)口腔保健協会日本歯科審美学会事務局までお問い合わせをお願いします。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。
(委員長 宮崎真至)

.....

セミナー統轄部会・セミナー委員会

セミナー統轄部会は奈良学術委員長と連携を取り、セミナー全体の連携・統括を図ることを今期の目標に掲げ、セミナー委員会としてセミナーの活動を行っていくこととなり、今期の活動をスタートしました。目標は会員の資質向上、会員増に貢献できるセミナー内容の充実をすることです。そこで、認定医・認定士の取得・更新を目標とした演題の策定、さらに認定医・認定士研修会としてセミナーを開催することを考えて活動を行ってきました(認定医へは2単位が追加で取得できる)。また、関連委員会であるホワイトニングコーディネータ委員会とは特に密に連絡を取り、会員であるホワイトニングコーディネータならびに認定士の育成に、協力体制をとってきました。

昨年12月16日には「審美歯科ウインターフェスティバル東京」という冠をつけて第1回セミナー委員会主催のセミナーをホワイトニングコーディネータ養成試験、ホワイトニングコーディネータアドバンスセミナーとの同時開催とし、「さらに進化する審美修復-コンポジット最新事情を知る-」というタイトルで、日

本大学宮崎真至教授、東京都ご開業の大谷一紀先生にデモを交えて、大変分かりやすい講演をしていただきました。さらに、本年2月には審美歯科ウインターフェスティバル名古屋と称して第2回セミナー委員会主催のセミナーを初めての試みとして、ハンズオンセミナーとして開催し好評でした。講師をしていただきました須崎 明先生、貞光謙一郎先生にはこの場を借りて感謝申し上げます。

本年度は「デジタルデンティストリーイン歯科審美」をテーマの一つとして掲げ、各種委員会と共同歩調をとって活動を始めていく予定です。まず、手始めとして6月9日に平成25年第1回セミナーを企画しており、「審美歯科フェスティバル イン 福岡」という冠をつけて第1回セミナー委員会主催のセミナーをホワイトニングコーディネーター養成試験、ホワイトニングコーディネーターアドバンスセミナーとの同時開催します。内容は「デジタルデンティストリーイン歯科審美」で、講師には熊本県でご開業の川口孝先生をお願いしています。多くの会員の皆様の参加をお待ちします。また、本年度中にあと2-3回のセミナーを計画中です。こちらも企画ができましたら、御案内いたします。各種御案内はホームページ<http://jdshinbi.net/pro/seminar.html>をご参照ください。また、メールでの御案内もいたしておりますので、よろしく願いいたします。 (委員長 佐藤博信)

.....

ホワイトニングコーディネーター委員会

ホワイトニングコーディネーター講習会は今年に入り2月10日に名古屋プライムセントラルタワー名古屋駅前店で開催されました。この2月のホワイトニングコーディネーター講習会は審美歯科ウインターフェスティバル イン名古屋と称し、コーディネーター講習会だけではなくセミナー、アドバンスセミナーも行われ大変多くの人でにぎわいました。

現在ホワイトニングコーディネーター登録者数は4,791名を



記録しました(2013年3月末)。受講者はホワイトニングに対する関心が高く、休み時間や講習会終了後の会場はいつも熱い熱気と活発な質疑が繰り広げられています。また最近ではDrの受講生が多くなってきました。

昨年よりコーディネーター委員会においてテキストの改訂を決定し、現在新しいテキストの作成を行っております。講演プログラムにも若干の変更が検討され、これからは「歯科審美とホワイトニングについて」の中で会長がコーディネーターのメリットや日本歯科審美学会の説明を行う予定です。今後は6月9日に福岡、9月8日に東京、2月9日に京都で開催する予定です。(委員 古川匡恵)

MTM研修会委員会

MTM研修会委員会では予めより進めておりました「MTM治療に関するQ&A集」を取りまとめ、学会ホームページにアップロードしましたことをご報告いたします。学会ホームページの右下「MTM治療について インデックス」から入れますので、会員の皆様には一度閲覧していただきたいと思っております。インデックス内容は大項目としてMTM治療の必要性、治療前の検査、適応症、禁忌症、治療の流れ、使用装置、MTM治療のQ&Aからなっております。さらに Q&Aは18項目を掲載しております。

限られたスペースでの情報提供ですので、不足している点などがあるかもしれませんが、今後会員の皆様のご意見を反映しながら、治療に役立つようなコンテンツに仕上げたいと考えております。(委員長 三浦廣行)

歯科衛生士部門

日本歯科審美学会学術大会への誘い

平成25年7月20日(土)・21日(日)に、第24回日本歯科審美学会学術大会が日本歯科大学生命歯学部(東京)にて開催されます。歯科衛生士に関する情報は以下のとおりです。

ホワイトニングコーディネーター資格更新希望の方は、下記のホワイトニングアドバンスコースいずれかに出席すれば、更新期間中の条件が満たされます。

●7月20日(土)

16:00~17:00 臨床セッション「ホワイトニングの安全性と臨床手順」

●7月21日(日)

9:45~11:45 シンポジウム4「ホワイトニングから始める持続的口腔管理」

また、歯科衛生士認定士資格新規希望の方は下記の認定士講習会い

いずれかに出席すれば2回以上出席という条件のうちの1回が満たされ、
歯科衛生認定士資格更新希望の方は下記の認定士講習会いずれかに
出席すれば3回以上出席という条件のうちの1回が満たされます。

●7月20日(土)

9:50~11:20 シンポジウム1「三位一体の歯科審美医療」
9:50~11:20 シンポジウム2「ハイクオリティの口腔
インプラントをめざして」

●7月21日(日)

9:45~11:45 シンポジウム4「ホワイトニングから始める
持続的口腔管理」
11:25~12:45 歯科衛生士セッション

(委員 山羽京子)

.....
表彰委員会

本学会が当委員会に求めている事業として、会則第6章第26
条に明記された「表彰(学会功労賞、優秀論文賞、優秀発表賞)
を行う。」がございませう。そこで本報では、直近の表彰につい
てお知らせいたします。

まず、昨年7月19日(木)~22日(日)に開催された第23回日
本歯科審美学会学術大会・第12回アジア歯科審美学会における
ポスター発表演題に対し、評議員の記名式投票によって優秀発
表賞の選考が行われました。その結果、歯科審美学および歯科
審美医療の発展に寄与する優れた発表として、坪田健嗣先生に
よる「BTA(Biological Tissue Adaptation)テクニックを用
いたラミネートベニアにより歯並びを整えた症例」に対して授
与が決定しました。表彰式は、来る7月20日(土)12:40~14:
00に開催される第24回学術大会の総会にて執り行われますので、
皆様のご来臨と温かい祝福をお願い申し上げます。

また、平成24年度の優秀論文賞、すなわち研究論文の内容が歯
科審美学および審美歯科医療の発展に貢献したと認められるもの(優
秀研究論文賞)、臨床論文の内容が審美歯科医療の実践および歯科
審美学の教育・研究に有益であると認められるもの(優秀臨床論文
賞)、歯科審美学研究の方法や目的に新規性があり、十分な理論的
背景を備え、審美歯科医療上の意義が明確であるもの(優秀奨励論
文賞)については、5月31日(金)をもって締切りとなりました。
輝く受賞者につきましては、間もなく選考がなされる予定です。

くわえて、本会における優れた教育・研究および臨床の業績、
会務運営により、本会の発展に著しい貢献のあった者に授与さ
れる平成25年度の学会功労賞につきましても、規則に則り、近々、
選考委員会が開催される予定となっております。

“表彰”とは、授与される者のみならず、表彰の機会を等し

くもつ会員諸氏、さらには審美医療を受ける国民・患者にとっても有意義なものと考えます。今後とも、皆様からの各賞に対する推薦・応募をお待ちしております。（委員長 奈良陽一郎）

ホームページ・ニュースレター委員会

ホームページ・ニュースレター委員会は歯科審美編集委員会とともに広報・編集部会を構成しており、主として本学会の広報活動を担当しています。

学会ホームページでは本学会の広報、学術大会やセミナー、国内外の関連学会の最新情報、機関紙「歯科審美」のインデックスやニュースレターのバックナンバー等を掲載しております。また今期からはMTM治療のページも開設され、さらに充実した内容となっております。さらに会員専用ページでは会員の皆様の情報や各種学術大会・セミナーの参加情報も表示されますので、ぜひご利用いただくとともに、変更等が生じた場合にはお早めの手続きをお願いいたします。

また、お読みいただいているニュースレターは橋場千織先生主導のもと、審美歯科関連学会のお知らせや各種の報告、新規器材に関するトピックス等を主な内容とした、ホームページとともに学会と会員の皆様とをつなぐコミュニケーションツールであり、本年度も年2巻の発行を予定しております。

なお、ニュースレターの発送先は、前期と同じく会員ならびに更新手続きを終了されているホワイトニングコーディネーターを対象としておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。（委員長 山本一世）

会員数・認定医・認定士数・WC数(2013年3月31日現在)

【会員数/4,090名(賛助会員を含む)】

A会員(歯科医師など)/2,580名

B会員(歯科技工士、歯科衛生士など)/1,480名

賛助会員/30社

【認定医数/122名】

【歯科技工認定士数/34名】

【歯科衛生認定士数/28名】

【ホワイトニングコーディネーター数/4,791名】

会 員/1,087 名

非会員/3,704 名

※非会員のホワイトニングコーディネーターの方は、資格をさらに活かせるよう本学会の会員に是非ともなっていただきたくお願い致します。なお資格更新には、会員であることが必須条件となるよう現在調整しております。

トピックス

知覚過敏の治療

大阪歯科大学歯科保存学講座 准教授 吉川一志

原発性の知覚過敏は、歯肉退縮による歯根面露出などによって、エナメル質またはセメント質が欠損して象牙質が露出し、象牙細管が口腔内で開口することにより生じる。一過性の冷温痛などがあるが、自発痛はないのが特徴である。処置後、発症するものはとくに術後性知覚過敏とよばれ、有髄歯漂白法では、処置中にしばしば知覚過敏症状を発症する。

発症のメカニズムとしては、「動水力学説 (hydrodynamic theory)」により象牙細管内容液の移動によって神経線維が興奮するためとされており、知覚過敏の改善には細管内容液の移動を阻止することが有効となる。

治療にあたっては生体侵襲の小さいものから順次選択する。第1選択としては、適切なプラークコントロールとともに、シュミテクト(図1)などの薬用歯磨剤を使用することにより症状が改善するとされている。

第2選択としては、細管内容液の移動の阻止を目的として、MSコートF(図2)など含有成分の作用で、象牙細管を封鎖するものを選択する。一方近年、ハイドロキシアパタイトに作用するナノ粒子化したフルオロアルミノシリケートガラスを応用した製品も市販され、ナノシール(図3)は塗布後の乾燥が必要でなく水洗又はうがいのみとしているのが、臨床的特徴である。

これらの処置によっても効果が不十分な場合は第3選択として、トクヤマシールドフォースプラス(図4)などの歯質接着性材料によって露出した象牙質を被覆し、象牙細管を封鎖するものを選択する。

知覚過敏の治療は1回で完治させることが望ましいが、実際の臨床現場では、患者に治療法とその効果を根気よく説明した上で、治療を繰り返し行っているのが現実である。症状に応じて知覚過敏抑制剤を選択することで知覚過敏治療の精度を高めていきたい。



図1 薬用歯磨剤シュミテクト



図2 MSコートF



図3 ナノシール



図4 シールドフォースプラス

賛助会員一覧

相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>

石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5
初台村上ビル4F
Tel: 03-5365-1760
<http://www.ultradentjapan.com>



株式会社エイコー
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3834-5777
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>

長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15
GSKビル別館9F
Tel: 03-5786-5012
<http://glaxosmithkline.co.jp>

クラレノリタケデンタル株式会社

クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraraynoritake.jp/>

サンメディカル株式会社

サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5F
Tel: 03-5148-7895
<http://www.sirona.co.jp>



スリーエムヘルスケア株式会社
〒141-8684 東京都品川区北品川6-7-29
Tel (フリーダイヤル): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>



デンツプライIH株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10
麻布借成ビル5F
Tel: 03-5575-5205
<http://www.dentsplyimplants.jp>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10
Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>



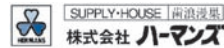
株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>



白水貿易株式会社
〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15
Tel: 06-6396-4400
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>



パナソニックヘルスケア株式会社
〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5
西新橋MFビル
Tel: 03-5408-7290
<http://panasonic.co.jp/hcc/phc/>



SUPPLY-HOUSE 歯造技果
株式会社ハーマンス
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
若葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
<http://www.hermans1984.co.jp/>



プランネットワークス株式会社
〒104-0042 東京都中央区入船2-1-1
住友入船ビル1304
Tel: 03-3523-4188
<http://www.dentwave.com>



ペンترون ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

株式会社SCIZ




カタナCAD/CAM システムの新提案

カタナ カラード ジルコニアディスク
(ブロック)はもちろんのこと、
ワックスの切削も可能です。



歯科技工室設置型
コンピュータ支援設計・製造ユニット

DWX-50 powered by Imagine  Roland

- 販売名 歯科用CAD/CAMマシン DWX-50
- 医療機器届出番号 22B3X10006000020
- 医療機器の分類 一般医療機器(クラスI)
- 製造販売 ローランド ディージー,株式会社
静岡県浜松市北区新都田1-1-3



- 歯科切削加工用セラミックス
ノリタケ カタナ ジルコニア
- 医療機器認証番号 223AFBZX00185000
 - 管理医療機器(クラスII)
 - 製造販売 クラレノリタケデンタル株式会社
新潟県胎内市倉敷町2-28

- 歯科用キャスト用ワックス
ノリタケ カタナ ワックス
- 医療機器届出番号 23B1X10001C7015
 - 一般医療機器(クラスI)
 - 製造販売 山八歯材工業株式会社
愛知県蒲郡市西浦町大知柄54-1

発売 **株式会社モリタ**

大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161

www.dental-plaza.com

Estheline Jet Set-4

エステファイン Jet Set-4



長期プロビジョナルレストレーションを考慮し、
耐久性、耐摩耗性、審美性に優れた即時重合レジン



修復部位: 112 ミディアム、ライトインサイザルによる2層構造テクニック
写真提供: 原宿デンタルオフィス 山崎 長郎 先生

豊富なカラー
バリエーション

エステティックカラー: 4色



基本歯冠色: 6色



特殊色: 2色



コストパフォー
マンスを追求

パウダー

45g ボトル	¥2,500	118mL ボトル	¥2,900
100g ボトル	¥3,100	236mL ボトル	¥3,550
New! 250g ボトル	¥5,900		
454g ボトル	¥8,500		

リキッド

セット

内容 パウダー:45gボトル×6 リキッド:118mLボトル×1 スポイト×1

■ プロフェッショナルカラーセット

(ライト×2、ミディアム×2、ダーク×1、ライトインサイザル×1)

■ 基本歯冠色セット (A2, A3.5, C2, D3, OM1, クリア)

各 ¥8,500

製造元: ラングデンタル社(アメリカ合衆国) (Lang Dental Manufacturing Co., Inc.)

管理医療機器 歯科材料 義歯床材料 歯科汎用アクリル系レジン(70916010) 認証番号:224ACBZX00077000号

製造販売元: **ペントロン ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 レ・ジュ大井町 5F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／千田 彰

編集／日本歯科審美学会
ホームページ・ニュースレター委員会
印刷／三宝印刷株式会社

日本歯科審美学会
www.jdshinbi.net/